

【】裁判所のしくみと働き

[] 三審制・裁判所の種類

[裁判所の種類]

[問題]

すべて司法権は、()及び法律の定めるところにより設置する下級裁判所に属する(76条)。()に適語を入れよ。

(佐賀県)

[解答欄]

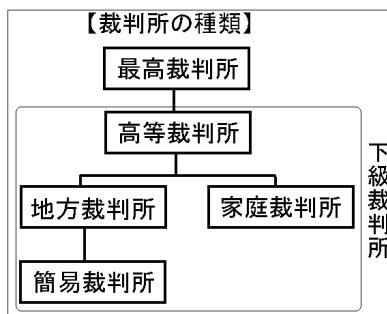
[解答]最高裁判所

[解説]

法にもとづいて争^{あらそ}いを解決することを裁判^{さいばん}または司法^{しほう}という。憲法76条1項は、「すべて司法権は、最高^{さいこう}裁判所及び法律の定めるところにより設置する下級^{かきゅう}裁判所に属する。」と定めている。

裁判所は、大きく、最高裁判所と下級裁判所に分けることができる。最高裁判所は1つである(東京都千代田区にある)。最高裁判所は15名の裁判官から構成されて

いる。下級裁判所には、高等裁判所(東京・大阪・名古屋・広島・福岡・高松・仙台・札幌の8つの都市に設置)・地方裁判所(各都府県に1つずつ、北海道は4つ、合計50か所)・家庭裁判所(合計50か所)・簡易裁判所(全国で438か所)の4つがある。なお、近年急増している特許や著作権に関する訴訟の迅速な裁判を実現するために、2005年に知的財産高等裁判所が新設された。



[問題]

次の文章中の ~ に適語を入れよ。

法にもとづいて紛争を解決することを裁判または()という。裁判を行うのが裁判所であり、裁判所には()裁判所と、高等裁判所・地方裁判所・家庭裁判所・簡易裁判所の4種類の()裁判所がある。

(補充問題)

[解答欄]

[解答] 司法 最高 下級

[問題]

次の裁判所のうち、全国で最も多く設置されている裁判所を選べ。

[最高裁判所 簡易裁判所 地方裁判所 高等裁判所]

(富山県)

[解答欄]

[解答]簡易裁判所

[三審制]

[問題]

裁判の結果について不服がある場合、原則として、上級の裁判所に控訴し、さらに上告することができる。裁判を慎重に行い、人権を守るための、このしくみを何というか。

答えよ。

(京都府)

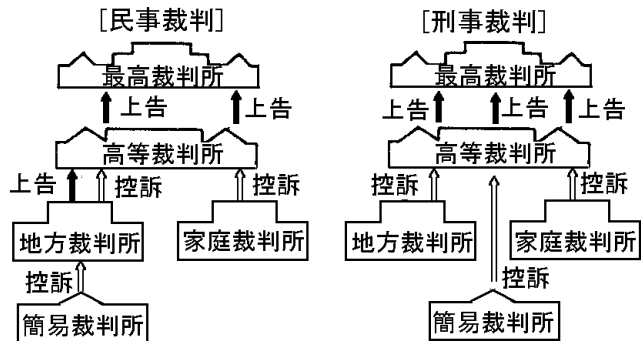
[解答欄]

[解答]三審制

[解説]

国民は、同じ事件について 3 回まで裁判を求めることができる。すなわち、第一審の判決に不服があれば、第二審の上級裁判所へ控訴することができる。さらに第二審の判決に不服のときは第三審へ上告を行うことができる。これを三審制という。三審制の目的は裁判を慎重に行い、人権を守るためである。

なお、第二審は高等裁判所、第三審は最高裁判所になるのが普通であるが、民事裁判で第一審が簡易裁判所の場合だけは、第二審は地方裁判所、第三審は高等裁判所になる。刑事裁判では、無実の罪で有罪になるえん罪が生じることがある。そのため確定した判決でも、疑いが生じたときには裁判をやり直す再審を請求できる。



[問題]

わが国の裁判制度において、三審制がとられている理由を簡潔に書け。

(和歌山県)

[解答欄]

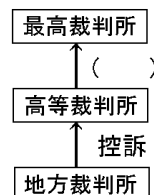
--

[解答] 裁判を慎重に行い、人権を守るため。

[問題]

三審制のしくみを示した右の図の()に適することばを書け。
また、図のようなしくみがとられているねらいを書け。

(鹿児島県)



[解答欄]

--	--

[解答] 上告 裁判を慎重に行い、人権を守るため。

[問題]

次の文中の ~ にあてはまる語をそれぞれ[]内から選べ。

裁判は事件の内容によって、まず簡易裁判所、地方裁判所、家庭裁判所のいずれかで行われる。その判決に不服があれば上級の裁判所に()し、さらに()することができる。それでもなお、無実の罪で有罪になるえん罪が生じることがある。そのため確定した判決でも、疑いが生じたときには裁判をやり直す()を請求できる。

[再審 上告 控訴 三審]

(茨城県)

[解答欄]

--	--	--

[解答] 控訴 上告 再審

[問題]

次の文の , に適語を入れよ。

事件で、二審も有罪。被告人の弁護人は、この判決を不服とし、()裁判所に()することを検討している。

(山梨県)

[解答欄]

--	--

[解答] 最高 上告

[解説]

刑事裁判では、いずれの場合でも、第二審は高等裁判所、第三審は最高裁判所になる。

[問題]

神戸地方裁判所で第一審が行われ、控訴された場合、第二審はどこで行われるか、次から1つ選べ。

[弾劾裁判所 大阪高等裁判所 最高裁判所 神戸家庭裁判所]

(京都府)

[解答欄]

--

[解答]大阪高等裁判所

[問題]

次の裁判が行われた裁判所を、[]から1つ選べ。

「裁判所は原告の訴えを認める判決を下し、賠償金の支払いを政府に命じた。この裁判の判決に対して、政府は控訴を断念したため、裁判は終わった。」

[地方裁判所 最高裁判所 高等裁判所 弾劾裁判所]

(秋田県)

[解答欄]

--

[解答]地方裁判所

[解説]

控訴こうそは第一審の判決に不服として第二審に訴えることである。[]の中で第一審の裁判所になるのは地方裁判所である。

[問題]

家庭裁判所の判決を受け入れずに控訴する場合の裁判所を，次から選べ。

[簡易裁判所 地方裁判所 高等裁判所 最高裁判所]

(群馬県)

[解答欄]

[解答]高等裁判所

[解説]

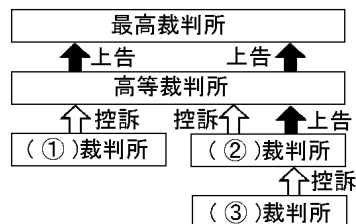
民事裁判・刑事裁判を問わず，第一審が家庭裁判所の場合，第二審は高等裁判所になる。

[問題]

右図の ~ にあてはまる語句を，それぞれ，次から選べ。

[地方 簡易 家庭]

(茨城県)



[解答欄]

[解答] 家庭 地方 簡易

[解説]

第二審は高等裁判所，第三審は最高裁判所になるのが普通であるが，民事裁判で第一審が簡易裁判所の場合だけは，簡易裁判所→(控訴)→地方裁判所(第二審)→(上告)→高等裁判所(第三審)となる。したがって， は簡易裁判所， は地方裁判所と判断できる。

[] 司法権の独立

[問題]

次の文の ， にあてはまる語句は何か， [] からそれぞれ 1 つ選べ。

日本国憲法第 76 条第 3 項では，「すべて裁判官は，その良心に従ひ() してその職権を行ひ，この憲法及び() にのみ拘束される。」と定めている。

[独立 連帯 国会 法律]

(徳島県)

[解答欄]

--	--

[解答] 独立 法律

[解説]

公正な裁判を行うためには司法権の独立が確保されていなければならない。憲法76条第3項は「すべて裁判官はその良心りょうしんに従ひ独立してその職権を行なひ，この憲法および法律にのみ拘束こうそくされる。」と定めている。

【司法権の独立】

良心りょうしんに従ひ独立してその職権を行ない，この憲法および法律にのみ拘束される

司法権の独立は，他の国家機関からの裁判所の独立，実際に裁判を担当する裁判官の職権の独立という2つの意味をもっている。 についてよく例に挙げられるのは，明治時代の天津事件あおつ(1891年)である。これは，来日中のロシア皇太子が滋賀県大津で警備にあたった1巡査に刺されて負傷した事件である。この事件は明治政府に大きな衝撃を与えた。当時南下政策をとっていた大国ロシアを刺激することに恐怖を覚えた政府は，犯人の巡査に死刑判決を下すよう大審院だいしんいん(現在の最高裁判所にあたる)に申し入れをしてきた。これに対し，大審院院長児島惟謙こじまいけんは司法の独立に対する不当な干渉であるとしてこれを退け，無期懲役の判決を下した。司法権の独立の については，「平賀書簡事件ひらがしょかん」という例がある。ある裁判を行っていた裁判官に，その裁判所の所長がアドバイスとして「書簡」を送ったもので，そこにはこういう判決をしたほうがいいということまで書かれてあった。この所長の行為は「裁判官の独立」を侵す憲法違反の行為であるとされ問題になった事件である。裁判官の独立を確保するために，裁判官の身分は保障されており，国会が行う弾劾だんがい裁判，心身の故障こくみんしんさ，国民審査以外では罷免ひめんされない。

[問題]

すべて裁判官は、その良心に従ひ(連帯 / 独立 / 専念 / 団結)してその職権を行ひ、この憲法及び法律にのみ拘束される。文中の()内より適語を選べ。

(栃木県)

[解答欄]

[解答]独立

[問題]

裁判官は自らの()に従い、憲法と法律にのみ拘束される。文中の()に適語をいれよ。

(福井県)

[解答欄]

[解答]良心

[問題]

第 76 条「すべて()は、その良心に従ひ独立してその職権を行ひ、この憲法及び法律にのみ拘束される。」文中の()に適語をいれよ。

(熊本県)

[解答欄]

[解答]裁判官

[問題]

裁判官は自らの良心と憲法および法律のみにしたがって裁判を行う。このことを何と
いうか。

(秋田県)

[解答欄]

[解答]司法権の独立

[問題]

裁判官が、国会や内閣、その他のどんな権力からも影響を受けないようにするために、日本国憲法で定められている内容を、簡潔に書け。

(和歌山県)

[解答欄]

[解答]裁判官は自らの良心に従って独立して裁判を行い、憲法および法律にのみ拘束される。

[問題]

司法権の独立について説明しているものとして最も適当なものはどれか。1 つ選び、その記号を書け。

ア 裁判所は、法律や規則などが憲法に違反していないかどうか審査する権限を持つ。

イ 裁判官は、みずからの良心に従い、憲法および法律にのみ拘束されて裁判を行う。

ウ 裁判官が発行する令状がなければ、警察官は、原則として逮捕や捜索はできない。

エ 裁判の当事者は、判決に不服であれば、さらに上級の裁判所に控訴や上告ができる。

(岩手県)

[解答欄]

[解答]イ

[解説]

アは違憲審査権、ウは刑事事件における人権の保障、エは三審制。

[] 国民審査・弾劾裁判による罷免

[国民審査]

[問題]

右の投票用紙を用いて、国民に最高裁判所裁判官の適任・不適任を問う制度の名称を、次から1つ選べ。

[国民投票 国民審査 解職請求 監査請求]

(新潟県)

[解答欄]

[解答]国民審査

[解説]

裁判官の独立を確保するために、裁判官の身分は保障されている。心身の故障、弾劾裁判、国民審査の3つの場合以外では罷免されない。

心身の故障の場合

国民審査

裁判官は内閣によって指名または任命されるので、国民主権

は、国民→国会→内閣→裁判所と間接的にしか働かない。憲法は、国民主権の立場から、最高裁判所の裁判官がその職に適任かどうか審査する国民審査を行うように定めている。衆議院議員総選挙のときに国民の投票によって審査され、その後は、10年たつてからの総選挙ごとに審査される。投票者の過半数によって、やめさせたいと判断された裁判官は辞めなければならない。(これまで、国民審査によって罷免された例はない)

国会が行う弾劾裁判

[問題]

次は、国民の投票によって行われる国民審査にかかわることについて記されている日本国憲法の条文の一部である。()の箇所に用いられている語を書け。

「()の裁判官の任命は、その任命後初めて行はれる衆議院議員総選挙の際国民の審査に付し、その後10年を経過した後初めて行はれる衆議院議員総選挙の際更に審査に付し、その後も同様とする。」

(大阪府)

[解答欄]

[解答]最高裁判所

見	本					イをウに 入れ替 え	注 「一、やめさせた方がよい」として罷免する 上、 「二、やめさせなくてはならない」として審査を行う については、何れ作らないこと。」
濱田飛夫	島田辰郎	甲斐中辰夫	上田豊三	泉徳治	裁判官の名		

【裁判官の罷免】
次の3つの場合のみ

心身の故障

弾劾裁判

国民審査(最高裁のみ)

[問題]

国民審査は何を審査するための投票か。ア～エから1つ選び、符号で書け。

- ア 法律が憲法に違反していないかどうか。
- イ 国務大臣がその職に適任かどうか。
- ウ 憲法改正を行うかどうか。
- エ 最高裁判所の裁判官がその職に適任かどうか。

(岐阜県)

[解答欄]

[解答]エ

[問題]

太郎さん：昨年は、衆議院が解散し、衆議院議員総選挙と最高裁判所裁判官の()
があったね。

- (1) ()にあてはまる語を書け。
- (2) (1)の制度はどのような目的で行われているか、「主権者」という語を用いて簡潔に書け。

(群馬県)

[解答欄]

(1)	(2)
-----	-----

[解答](1) 国民審査 (2) 主権者である国民が裁判所を監督するため。

[問題]

国民審査が最高裁判所裁判官だけを対象に実施されることになっているのはなぜか。
その理由を「違憲立法審査権」または「違憲審査権」の語句を使って説明せよ。

(富山県)

[解答欄]

[解答]最高裁判所は違憲立法審査権をもつ裁判所の中でも、最終的に判断する権限をもっているため。

[問題]

国民審査が同時に行われることになっているのは、次の[]のどの選挙のときか。
1つ選べ。

[衆議院議員の選挙 参議院議員の選挙 県知事選挙 県議会議員の選挙]

(富山県)

[解答欄]

[解答]衆議院議員の選挙

[弾劾裁判]

[問題]

裁判官が職務に違反したり、裁判官としてふさわしくない行動があったりした場合、日本国憲法では、罷免するかどうかを判断する弾劾裁判所を()に設置することが定められている。

(千葉県)

[解答欄]

[解答]国会

[解説]

職務上の義務に著しく違反したり、裁判官としての威信^{いしん}を著しく失うべき非行があったりした裁判官を罷免^{ひめん}するかどうかを判断するのが弾劾^{だんがい}裁判である。弾劾裁判所は国会内に設置され、14名の国会議員(衆参各院から7名ずつ)が裁判官となって裁判を行う。憲法制定以来、7件の弾劾裁判があり、5名が罷免された。

[問題]

次のうち、最も適当なものを選んで、そのかな符号を書け。

- ア 裁判官は、具体的な裁判を通して憲法が条約に違反していないかを審査することができる。
 - イ 最高裁判所の裁判官は、内閣により定期的に審査されており、政府に監督されている。
 - ウ 裁判官は身分が保障されているが、国会による弾劾裁判によって地位を失うことがある。
 - エ 最高裁判所長官は国会が指名して内閣が任命し、その他の裁判官は内閣が指名する。
- (愛知県)

[解答欄]

[解答]ウ

[解説]

アは誤り。憲法は国の最高法規であるので、憲法が条約に違反していないかを判断することはない。

イは誤り。司法権の独立の原則により、裁判官が内閣の審査や監督を受けることはない。

ウは正しい。

エは誤り。最高裁判所長官は内閣が指名し、天皇が任命する。最高裁判所のその他の裁判官は内閣が任命する。下級裁判所の裁判官は、最高裁判所の指名した名簿によって内閣が任命する。

[] 違憲審査権・憲法の番人

[違憲審査権]

[問題]

裁判所は、法律や行政の仕事が憲法に違反しているかどうかを判断する権限をもっている。この権限を何というか。

(長崎県)

[解答欄]

[解答] 違憲審査権

[解説]

法律や行政処分が憲法に適合する^{てきごう}かしないかを決定する権限を違憲審査権^{いけんしんさけん}という。最高裁判所が違憲審査権を発動して、既存の法律を違憲であると判断を下した最初の判例^{はんれい}は刑法^{けいほう}の尊属殺人^{そんぞく}の規定であった(1973年)。かつて、刑法には通常の殺人罪のほかに尊属殺人罪というのがあった。殺人罪が「人を殺したる者は死刑又は無期もしくは3年以上の懲役に処す」と規定されているのに対し、尊属殺人罪は「自己又は配偶者の直系尊属を殺したる者は死刑又は無期に処す」とより厳しい処罰が定められていた(直系尊属とは父母・祖父母などである)。問題になった事件は「栃木実父殺し事件」とよばれるものである。被告の女性(当時29歳)は実父から長年にわたってひどい性的虐待を受け続け、夫婦同然の関係を強いられてきたが、それに耐えかね思いあまって実父を殺害してしまったという事件である。裁判官は、むしろ気の毒なのは被告の女性であると考え、執行猶予のついた判決を出すのが相当と考えたようであるが、尊属殺人は「死刑又は無期」という重罰^{じゅうばつ}が規定されているため、そのままでは実刑判決を出さざるを得ない状況であった。最高裁判所は、執行猶予が付けられないほどの重い刑罰のみしか言い渡せない刑法200条の尊属殺人罪の規定は、法の下での平等を定めた憲法14条に違反する(違憲である)として、被告人には通常の殺人罪を適用し懲役2年6月、執行猶予3年を言い渡した。その後、1995年の刑法改正で200条は削除された。

【違憲審査権】

すべての裁判所が違憲審査権をもつ
違憲か否かの最終判断は最高裁判所
||
憲法の番人

最高裁判所は、靖国神社への玉ぐし料を県の公費から支出したのは、憲法20条(信教の自由)と89条違反であるとした。

このように、裁判所の違憲審査権は、立法や行政の行為が憲法に違反しないかどうかをチェックし、憲法が最高法規であることを確保する働きをしている。ただし、裁判所の違憲審査は、具体的裁判の中でのみ判断されるものである。国会が制定した法律を裁判

の場以外で違憲と判定する権限はもっていない。違憲審査権はすべての裁判所がもっているが、違憲かどうか争われた事件は最高裁まで持ち込まれることが多く、最高裁判所は最終判断を下すことになる。法令が合憲か違憲かについての最終決定権を持っていることから、最高裁判所は憲法の番人ばんにんと呼ばれている。

[問題]

次の訴訟のうち、裁判所による違憲審査にあてはまるものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

- ア 血友病の治療剤として使用された非加熱の血液製剤が原因で、エイズウイルスに感染した人々が、損害賠償を求めて訴訟をおこした。
- イ ある衆議院議員選挙において、議員1人あたりの有権者数に約5倍の格差があるのは選挙権の平等に反するとして、選挙の無効を求めて訴訟をおこした。
- ウ 大阪空港を離着陸する航空機のもたらす騒音等の公害に苦しむ周辺住民が、夜間の飛行差し止めと過去・将来の損害賠償の支払いを求めて訴訟をおこした。
- エ ある月刊誌に掲載された小説のモデルになった女性が、プライバシーを侵害されたとして、出版差し止めと損害賠償を求めて訴訟をおこした。

(鳥取県)

[解答欄]

[解答]イ

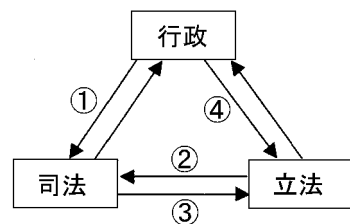
[問題]

次の文章中の下線部の内容にあてはまるのは、三権の抑制と均衡の関係を示した、右の図中の①～④のうちではどれか。

「日本国民である父と日本国民ではない母との間に子どもが生まれ、父がその子どもを自分の子どもであるとして届出をした。しかし両親が結婚していなかった(婚姻関係になかった)ため、国籍法第3条1項により子どもに日本国籍が認められなかった。この件に関して起こされた裁判で、2008年6月4日、最高裁判所は、国籍法第3条1項が日本国憲法第14条に違反するという判断を示した。」

(岡山県)

[解答欄]



[解答]

[問題]

裁判所が行う違憲審査は、法律が憲法に違反していないかどうかを判断しているが、法律以外に何を審査の対象にしているか書け。

(福井県)

[解答欄]

[解答]行政(国)の行為

[問題]

裁判所は、国会で制定された法律やその法律にもとづく行政の行為を審査することがある。それはどんな場合か、「国会で制定された法律やその法律にもとづく行政の行為が、」に続けて説明せよ。

(富山県)

[解答欄]

[解答]国会で制定された法律やその法律にもとづく行政の行為が、憲法に違反しているおそれがある場合。

[憲法の番人]

[問題]

最高裁判所は、行政の行為や法律が合憲かを判断する最終的な決定権をもつことから、憲法の何とよばれているか。

(補充問題)

[解答欄]

[解答]憲法の番人

[問題]

最高裁判所が、「憲法の番人」とよばれている理由を書け。

(山形県)

[解答欄]

[解答]最高裁判所は、法律などが憲法に違反していないかどうかを、最終的に判断する権限をもっているから。

【】裁判の種類と人権

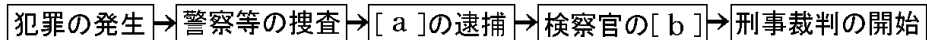
[] 刑事裁判

[被疑者の起訴]

[問題]

和夫さんは、下の図のように、犯罪発生から裁判までの大まかな流れをまとめた。図の a, b にあてはまる語句を、次から 1 つずつ選べ。

[被告 原告 被疑者 控訴 起訴 上告]



(山梨県)

[解答欄]

a	b
---	---

[解答] a 被疑者 b 起訴

[解説]

事件が発生すると、警察が被疑者を捜し出し、確かな証拠が得られると裁判所に逮捕状を請求して、被疑者を逮捕する。逮捕された被疑者は、検察庁に送検され検察官の取り調べを受ける。その結果、裁判が必要であれば、検察官が原告となって被疑者を裁判所に起訴する。

[問題]

検察官が裁判所に訴え、有罪か無罪かを決定する裁判は、民事裁判、刑事裁判のいずれか。

(福岡県)

[解答欄]

--

[解答] 刑事裁判

[問題]

次の文の説明にあてはまる人を、あとの [] の中から選べ。

「犯罪を捜査し、被疑者を裁判所に起訴する。裁判では、いろいろな証拠を出して、起訴した被疑者の有罪を立証する。」

[裁判官 検察官 弁護士 被告人]

(茨城県)

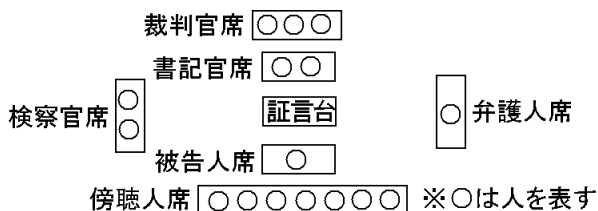
[解答欄]

[解答]検察官

[刑事裁判の原告と被告人]

[問題]

次の資料は模擬裁判を行ったときの法廷の配置図である。模擬裁判での K さんの役は、起訴した被告人に対して起訴状を読み上げるというものであった。模擬裁判での K さんの役は何か、次の[]から 1 つ選べ。また、この裁判は何か、下の[]から 1 つ選べ。



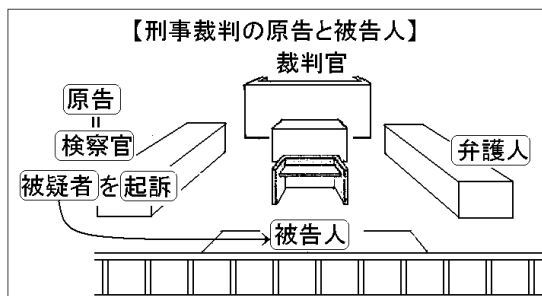
[裁判官 書記官 検察官 弁護人 民事裁判 刑事裁判 違憲審査 弾劾裁判]
(京都府)

[解答欄]

[解答] 検察官 刑事裁判

[解説]

検察官は警察官から送致された被疑者を取り調べ、犯罪の疑いが確実になった場合、検察官は被疑者を被告人として裁判所に起訴する。このような刑事裁判では、裁判所に訴える検察官が原告となる。訴えられた被疑者は被告人となる。刑事裁判では、被告人の利益を守るために、必ず弁護人が付くことになっている。裁判所は被告人が有罪か無罪かを決め、有罪の場合には刑罰をい



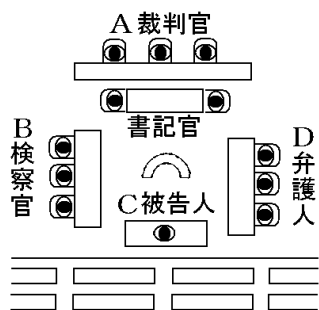
[問題]

右の図は、地方裁判所の刑事裁判の法廷の図である。
罪をおかした疑いのある者を、裁判所に訴える立場にあるものはどれか。右の図中の A～D から 1 つ選び、
符号を書け。

(大分県)

[解答欄]

[解答]B

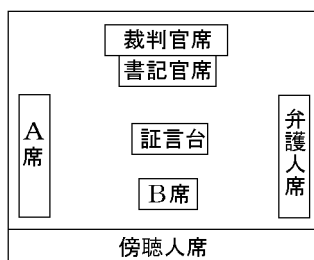


[問題]

次の写真は、現在の刑事裁判のようすを表したものである。これを参考にして、図中の A, B にあてはまる組み合わせを、ア～エから 1 つ選んで記号で答えよ。



	A	B
ア	警察官	原告
イ	検察官	被告人
ウ	検察官	原告
エ	警察官	被告人



(島根県)

[解答欄]

[解答]イ

[解説]

刑事裁判では、^{ひぎしゃ}被疑者を^{ひこくにん}被告人として、^{けんさつかん}検察官が^{きそ}裁判所に起訴する。

[問題]

次は、正男君たちが授業で行った模擬裁判の脚本である。これは、民事裁判または刑事裁判のどちらの裁判かを書き、 そのように判断した理由も簡潔に書け。

裁判官：「弁護士は、検察官の起訴状に対して何かありませんか。」

弁護士：「はい、いくつか質問があります。」

(宮崎県)

[解答欄]

--	--

[解答] 刑事裁判 検察官が起訴しているから。

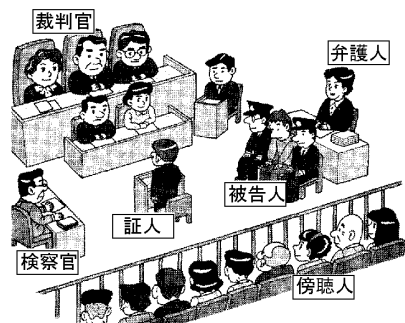
[問題]

右の資料が刑事裁判の法廷のようすとであると判断できる理由を、民事裁判との違いをあげて1つ書け。

(熊本県)

[解答欄]

--



[解答] 民事裁判とちがって検察官が原告となっているから。

[解説]

検察官が原告になるのは刑事裁判の場合である。また 裁判に訴えられた人のよび名は、刑事裁判では「被告人」、民事裁判では「被告」である。

[問題]

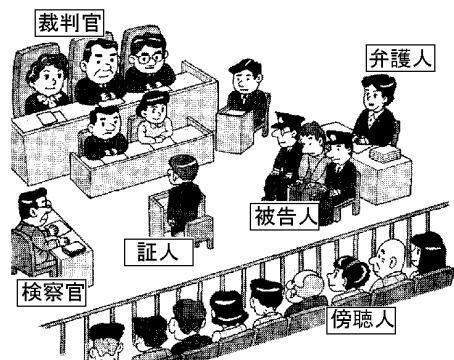
次の各問いに答えよ。

(1) 右の図の裁判の種類を次から1つ選べ。

[民事裁判 刑事裁判 弾劾裁判]

(2) 図のような裁判の際に公正な裁判を行うため、日本国憲法では被告人の権利を保障している。図から読みとれる被告人の権利を1つ簡潔に書け。

(長崎県)



[解答欄]

(1)	(2)
-----	-----

[解答](1) 刑事裁判 (2) 弁護人を依頼する権利

[問題]

公正な裁判を保障するために、刑事被告人には、資格を持つ()を依頼する権利が認められている。()に適語を入れよ。

(栃木県)

[解答欄]

[解答]弁護人

[問題]

2009年からの裁判員制度の導入を踏まえ、刑事裁判の模擬裁判が各地で実施されている。次のa～cは、この模擬裁判において、裁判官、検察官、弁護人が発言した言葉である。これらのうち、検察官の発言を選び、記号を書け。

- a 「公訴事実について、無罪を主張します。」
- b 「判決を言い渡します。主文。被告人は無罪。」
- c 「懲役十年に処するのが相当であると思われます。」

(佐賀県)

[解答欄]

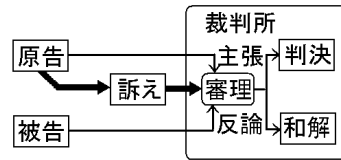
[解答]c

[解説]

a は弁護人、b は裁判官、c は検察官の発言である。

[問題]

右図は民事裁判のしくみをまとめたものである。刑事裁判になると、裁判のしくみが変わり、図の「被告」は「被告人」となり、「和解」がなくなる。刑事裁判の場合、図の「原告」、「訴え」、「審理」は、それぞれどのようになるか。次から1つずつ選べ。



[検察官 警察官 弁護士 起訴 控訴 取り調べ 公判 刑罰]

(滋賀県)

[解答欄]

--	--	--

[解答] 検察官 起訴 公判

[] 被疑者・被告人の人権保障

[問題]

わが国の被疑者や被告人の権利に関する説明として誤っているものを，次のア～エから1つ選び，記号で答えよ。

- ア 拷問などによる自白は，証拠とならない。
- イ 捜索や逮捕には，検察官の発行する令状が必要である。
- ウ 有罪の判決が受けるまでは，無罪とみなされる。
- エ 第一審の判決に不服であれば，控訴，さらに上告することができる。

(熊本県)

[解答欄]

[解答]イ

[解説]

日本国憲法は，法律の定めがなければ刑罰を科せられないという罪刑法定主義を定めている。また，警察・検察の捜査の行きすぎによって人権が侵害されることがないように，捜査活動を憲法等で厳しく制限している。まず，逮捕を行うためには，現行犯の場合以外は裁判官の出す逮捕令状が必要である。

警察官から送致された被疑者を取り調べるのは検察官であるが，憲法は拷問を禁止している。被疑者には，黙秘権(自分に不利なことはいわなくてもよい権利)，弁護人を依頼する権利，迅速な公開裁判を受ける権利がある。

検察官は取り調べ後，裁判所へ起訴する。検察官が原告となり，訴えられた者が被告人となる。裁判は証拠にもとづいて行われ(証拠裁判主義)，被告人の自白のみでは有罪にはできない。また，拷問などによる自白は証拠とならない。被告人は有罪の判決を受けるまでは，無罪とみなされる。

【逮捕の要件】

- 現行犯の場合
- 裁判官の出す逮捕令状があるとき
(捜索の場合は 捜索令状)

【被告人の人権保障】

- (無罪と推定される)
- 迅速な公開裁判を受ける権利
- 弁護人を依頼する権利
- 罪刑法定主義
- 証拠裁判主義(自白 だけではダメ)

[問題]

刑事裁判について述べた文として誤っているものを、次のア～エの中から1つ選んで、そのかな符号を書け。

- ア 被疑者の容疑がかたまと、検察官が原告となり、被疑者を被告人として裁判所に起訴することで裁判が始まる。
- イ 被告人は、判決を受けるまでの間は無罪と推定されるので、居住・移転の自由や精神の自由が制限されている。
- ウ 被疑者が自白を強要されないように、拷問などによる自白を裁判において証拠として使うことはできないとされている。
- エ 法律が定める手続きによらなければ、個人の生命や自由をうばうなどの刑罰を科すことはできないとされている。

(愛知県)

[解答欄]

[解答]イ

[解説]

イが誤り。被告人は、判決を受けるまでの間は無罪と推定される。

[問題]

裁判に関わる人権保障について内容が誤っているものを、次のア～エの中から1つ選び、その記号を書け。

- ア 裁判官の発行する逮捕令状や搜索令状がなければ、原則として逮捕・搜索されない。
- イ 被告人の自白のみを証拠として使うことができる。
- ウ 被告人は判決を受けるまで無罪と推定され、公正で迅速な公開裁判を受ける権利がある。
- エ 公正で慎重な裁判を行い人権を守るために、三審制というしくみがある。

(埼玉県)

[解答欄]

[解答]イ

[解説]

イは誤り。被告人の自白のみでは有罪にはできない。

[問題]

次のア～エのうち誤っているものを1つ選び、記号で書け。

- ア 裁判官の令状がなければ逮捕や捜索をされない権利は、自由権の1つである。
- イ 裁判を受ける権利は、人権を守るための権利(請求権)の1つである。
- ウ 無罪の判決を受けた人が刑事補償を求める権利は、平等権の1つである。
- エ 最高裁判所裁判官を国民が審査する権利は、参政権の1つである。

(山梨県)

[解答欄]

[解答]ウ

[解説]

無罪の判決を受けた人が刑事補償を求める権利は、請求権の1つである。

[問題]

正しいものを、次のア～エから1つ選び、その符号を書け。

- ア 被告人のプライバシーの権利を保護するために、裁判は原則として非公開で行われる。
- イ 警察官が被疑者を逮捕するためには、原則として検察官の発行する逮捕令状が必要である。
- ウ 被告人の自白があった場合には、裁判官はただちに有罪の判決を下さなければならない。
- エ 被告人は有罪の判決を受けるまでは無罪と推定され、犯人として扱ってはならない。

(新潟県)

[解答欄]

[解答]エ

[解説]

- アは誤り。裁判は公開で行われるのが原則である。
- イは誤り。^{たいほれいじょう}逮捕令状を発行するのは裁判官である。
- ウは誤り。^{ひこくにん}被告人の自白のみでは^{じはく}有罪には^{ゆうざい}できない。

[問題]

次のア～エから，正しいものを2つ選べ。

- ア 警察官は，裁判官が出す令状がなければ，原則として逮捕や捜索はできない。
- イ 被告人は，無罪の判決を受けるまで有罪と推定される。
- ウ 被告人のプライバシーを保護するため，裁判は原則として非公開で行われる。
- エ 拷問などによる自白は，証拠として使うことはできない。

(鹿児島県)

[解答欄]

[解答]ア，エ

[解説]

- イは誤り。被告人は，判決を受けるまでの間は無罪と推定される。
- ウは誤り。裁判は公開で行われるのが原則である。

[問題]

刑事裁判では，被告人の人権を保障するため，被告人は，(X)と推定されることが原則である。文中の X に適当な言葉を書き入れて文を完成させよ。ただし，X には，[確定，無罪，有罪]の3つの言葉を含めること。

(愛媛県)

[解答欄]

[解答]有罪の判決が確定するまでは無罪

[問題]

有罪判決の確定後，それをくつがえすような新しい証拠が出た場合などに認められるやり直しの裁判を(X)という。(X)で無罪となった例もある。X にあてはまる語句を答えよ。

(茨城県)

[解答欄]

[解答]再審

[解説]

捜査・裁判は慎重に行われるが、無実なのに犯人とされるえん罪がおこることがある。
有罪が確定した後に、あらたな有力な証拠が発見された場合などには、裁判のやり直し
(再審)が行われることもある。

[] 民事裁判と刑事裁判

[民事裁判]

[問題]

次の裁判の例について述べた文として適切なものを，下のア～エの中から 1 つ選び，記号で答えよ。

Aさんは，貸したお金をBさんから返してもらえないために，Bさんを訴えて裁判が始まった。

ア これは刑事裁判の例で，Aさんが原告であり，Bさんが被告である。

イ これは民事裁判の例で，Aさんが被告であり，Bさんが原告である。

ウ これは刑事裁判の例で，Aさんの代わりに検察官が意見を主張する。

エ これは民事裁判の例で，Aさん，Bさん共に弁護士を依頼できる。

(静岡県)

[解答欄]

[解答]エ

[解説]

私人間の金銭の貸し借りの争いなどを裁くのは民事裁判である。裁判所に訴えたAさんが原告で，訴えられたBさんが被告である。Aさん，Bさん共に弁護士を依頼できる。

[問題]

民事裁判について述べた文として適当なものを，ア～エから 1 つ選び，その記号を書け。

ア 他人のものを盗んだり傷害を負わせたりする行為などについて，有罪・無罪を決める裁判。

イ 国会に設置される裁判所で，裁判官をやめさせるかどうかを決める裁判。

ウ 犯罪の疑いのある者を被告人として，裁判所に起訴することから始まる裁判。

エ 貸したお金を返してもらえないとか，遺産相続で争いがあるときなどに行う裁判。

(愛媛県)

[解答欄]

[解答]エ

[解説]

アとウは刑事裁判，イは弾劾裁判。

[問題]

Aさんの投げたボールが、Bさんの自動車のドアをへこませてしまい、Bさんから損害の賠償を求められた。裁判になった場合、「原告」になるのは、AさんとBさんのどちらか。

(滋賀県)

[解答欄]

[解答]Bさん

[問題]

民事裁判において、判決を待たずに双方が合意して円満に解決することを何というか。

(補充問題)

[解答欄]

[解答]和解

[解説]

民事裁判が行われている途中でも、当事者どうしの話し合いがつけば、裁判をとりやめることができる。これを^{わかい}和解という。裁判のほかに、当事者が裁判所に^{ちやうてい}調停を申し出て、裁判官と民間の調停委員をまじえて、話し合いによる解決をはかる場合もある。

また、裁判の途中で、裁判所が調停をすすめる場合もある。

和解や調停は民事事件に特有のものであり、刑事事件では和解や調停はない。

[民事裁判と刑事裁判]

[問題]

次の文の　，　に適語を入れよ。　については(　)内より適語を選べ。

裁判には、(　)裁判と(　)裁判がある。(　)裁判は、お金の貸し借りや相続などをめぐって争いがおきたときに、自分の権利を侵害されたと考えたり、当事者どうしで解決できないと考える人が訴えをおこして始まる裁判である。(　)裁判は、他人のものを盗んだり、人を傷つけるなどの犯罪がおきたときに、(弁護士/裁判官/警察官/検察官)が、犯罪の疑いのある者を被告人として裁判所に起訴することで始まる裁判である。

(北海道)

[解答欄]

--	--	--

[解答] 民事 刑事 検察官

[解説]

裁判には、土地争いや金銭の貸し借りなどの民事裁判、犯罪を裁くための刑事裁判、そして国や地方公共団体と国民の間におこった争いを取り扱う行政裁判の3つがある。刑事裁判の場合の原告は検察官で、警察官から送致された被疑者を取り調べる。犯罪の疑いが確実になった場合、検察官は被疑者を被告人として裁判所に起訴する。その際、被告人の利益を守るために、必ず弁護人が付くことになっている。裁判所は被告人が有罪か無罪かを決め、有罪の場合には刑罰をいわたす。

民事裁判では、裁判所に訴えた人を原告、訴えられた人を被告という。裁判官は両者の言い分をよく聞いて審理を進め、法律にもとづいた判断をするが、当事者どうしの話し合いによって、和解や調停が成立することもある。民事裁判には、個人間の争いのほか、国や地方公共団体を相手に争う裁判がある。これを特に行政裁判という。

[問題]

次の文の ， に適語を入れよ。

民事裁判は、貸したお金を返してもらえないなど、私人の間の争いについての裁判である。この裁判では、訴えた人を()といい、訴えられた人を被告という。一方、刑事裁判は、犯罪行為について、有罪・無罪を決定する裁判である。この裁判では、()が被疑者を被告人として裁判所に起訴することになっている。

(栃木県)

[解答欄]

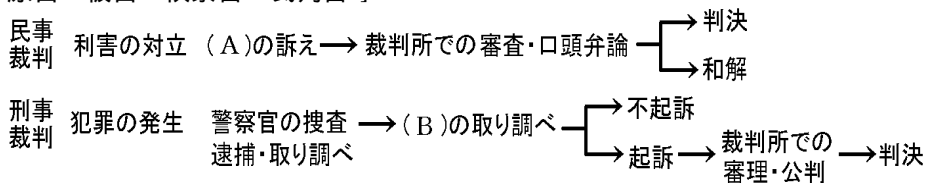
--	--

[解答] 原告 検察官

[問題]

下の図は、裁判の種類と手続きのあらましなどを示したものである。図中の A, B にあてはまることは次のうちのどれか。

[原告 被告 検察官 裁判官]



(岩手県)

[解答欄]

A	B
---	---

[解答]A 原告 B 検察官

[問題]

刑事裁判の流れについて述べているのは、次のア～エのうちではどれか。

- ア 国の行政処分を取り消しを求めた住民が原告となって、行政機関を相手に裁判を起こした。裁判所は「公共の福祉」を理由に原告の訴えを退けた。
- イ 交通事故にあった被害者が原告となって、加害者を被告として損害賠償を求める裁判を起こした。裁判所は調停案を示し、和解が成立した。
- ウ 国会議員で構成される裁判所が設けられ、信用を失う行為があった裁判官に対する裁判を行った。裁判所はその裁判官を不適格と判断し、罷免した。
- エ 検察官が原告となって、警察の捜査で逮捕された被疑者を被告人として起訴し、裁判が始まった。裁判所は被告人に有罪の判決を下した。

(東京都)

[解答欄]

--

[解答]エ

[解説]

アは行政裁判、イは民事裁判、ウは弾劾裁判、エは刑事裁判である。

[問題]

刑事裁判の事例として正しいものを、次のア～エの中から1つ選び、記号を書け。

- ア aさんは、bさんにお金を借りたが返さなかったので、bさんから訴えられて裁判となった。
- イ cさんは、暴力をふるい相手にけがをさせたため警察に逮捕されその後検察官から訴えられて裁判となった。
- ウ dさんは、全く所得がないのに税務署が所得税を課したので、課税を取り消すように訴えて裁判となった。
- エ eさんは、働いていた会社から突然解雇されたが、それが不当であるとして、会社を訴えて裁判となった。

(佐賀県)

[解答欄]

--

[解答]イ

[解説]

アは民事裁判、イは刑事裁判、ウは行政裁判、エは民事裁判である。

[問題]

通常 訴状や起訴状などが裁判所に提出されることにより裁判が開始される。次のP、Qの文について、その内容が民事裁判に関する場合にはアを、刑事裁判に関する場合にはイを、民事裁判と刑事裁判の両方に関する場合にはウをそれぞれ書け。

P 金銭の貸し借りなど私人の間の対立を解決するため、原告と被告がそれぞれ自分の言い分を主張し、裁判官が法律に基づいて判決を下す。

Q 裁判を慎重に行い、誤りを防ぎ、人権を守るために三審制がとられている。

(大阪府)

[解答欄]

P	Q
---	---

[解答]P ア Q ウ

[解説]

P：金銭の貸し借りなど私人の間の対立を解決するための裁判は民事裁判である。

Q：民事裁判・刑事裁判ともに三審制がとられている。

【】裁判員制度・司法改革

[裁判員制度]

[問題]

2009年5月に日本でも国民が裁判に参加する新しい制度が導入された。この制度の名称を答えよ。

(沖縄県)

[解答欄]

--

[解答]裁判員制度

[解説]

裁判員制度は、重大な刑事事件(殺人、傷害致死など)について、選挙権を持つ国民から抽選で選ばれた裁判員が裁判官と一しょに審理し、被告人が有罪か無罪か、有罪であればどのような刑罰がふさわしいかを定める

制度で、2009年から導入された。裁判員制度が適用される事件は地方裁判所で行われる刑事裁判(第一審)のうち、殺人罪、傷害致死罪、強盗致死傷罪、現住建造物等放火罪、身代金目的誘拐罪など、一定の重大な犯罪についての裁判である。裁判員制度を導入した目的は、国民の司法参加により市民が持つ日常感覚や常識といったものを裁判に反映するとともに、司法に対する国民の理解の増進とその信頼の向上を図ることとされている。

【裁判員制度】

- ・重大な刑事裁判(殺人など)の第一審
- ・選挙権を持つ人の中から抽選→裁判員
- ・市民の日常感覚・常識を裁判に反映させ、司法への国民の信頼向上をはかる目的

[問題]

次の文の　，　に適語を入れよ。

選挙権のある満(　)歳以上の国民が(　)として刑事裁判に参加する(　)制度が、2009年に導入された。

(福岡県)

[解答欄]

--	--

[解答] 20　裁判員

[解説]

選挙権は18歳以上に変わったが、裁判員については当面、従来通り20歳以上とされた。

[問題]

平成 21 年 5 月から裁判員制度が導入された。

(1) この制度について簡潔に説明した次の文中の ， にあてはまる最も適当な語を書け。

裁判員制度とは，()が裁判に()する制度である。

(2) この制度が導入される裁判の種類を書け。

(佐賀県)

[解答欄]

(1)		(2)
-----	--	-----

[解答](1) 国民 参加 (2) 刑事裁判

[問題]

裁判員制度はどのような裁判に適用されるか。次から 1 つ選べ。

[刑事裁判 民事裁判 弾劾裁判]

(香川県)

[解答欄]

[解答]刑事裁判

[問題]

裁判員制度における裁判員の仕事として正しいものを，次のア～エから 1 つ選べ。

ア 民事裁判で，弁護士と相談して，被告の利益を守る。

イ 民事裁判で，原告と被告の主張を聞き，証拠を調べたうえで判断を下す。

ウ 刑事裁判で，被疑者を被告人として起訴するかどうかを決める。

エ 刑事裁判で，被告人が有罪か無罪かを審理し，有罪であれば刑罰を決める。

(滋賀県)

[解答欄]

[解答]エ

[問題]

裁判員制度についての説明として、最もふさわしいものを、次のア～エの中から1つ選んで、その記号を書け。

- ア 捜索や逮捕には、裁判官が発行する捜査令状や逮捕令状が必要である。
- イ 裁判が確定した後、裁判に重大な誤りがあると疑われる場合には、裁判をやり直せる。
- ウ 個人の間での権利・義務の争いを解決する裁判である。
- エ くじで選ばれた国民が、裁判官といっしょに裁判を行う。

(茨城県)

[解答欄]

[解答]エ

[問題]

次の文章中の ， の()内からそれぞれ適語を選べ。

市で起きた連続強盗事件に関する裁判員裁判で、有罪判決を受けた被告人は、これを不服として、(高等/最高)裁判所に(控訴/上告)した。

(石川県)

[解答欄]

--	--

[解答] 高等 控訴

[解説]

裁判員制度による裁判は、地方裁判所における第一審の刑事裁判で行われる。判決に不服な被告人は、高等裁判所へ控訴を行う。

[裁判員制度の目的]

[問題]

我が国の司法制度改革の1つとして、裁判員制度が導入された。この制度を導入したねらいとして、最も適当なものを、次のア～エから1つ選び、その符号を書け。

- ア 裁判官の人数を現在より減らすため。
- イ 裁判所による行政への監督を強めるため。
- ウ 裁判にかかる費用を安くするため。
- エ 国民の裁判への参加を進めるため。

(新潟県)

[解答欄]

[解答]エ

[問題]

司法制度改革の柱の1つである裁判員制度の目的として最も適当なものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

ア 裁判の審理・評決に国民が参加する。

イ 司法試験に合格する人を増やす。

ウ 法律の新しい専門家を育成する。

エ 裁判の進行を速め、短期化する。

(鳥取県)

[解答欄]

[解答]ア

[問題]

「私の視点、私の感覚、私の言葉で参加します。」は、司法に関する改革の1つとして、刑事裁判において新しく導入された制度のキャッチフレーズである。この制度を何というか。また、この制度にはそれ以前の制度と大きな違いがあるが、それはどのような違いか。

(石川県)

[解答欄]

--	--

[解答] 裁判員制度 一般の国民が裁判官と一緒に裁判を行うこと。

[問題]

次の文は、裁判員制度の導入によって期待されていることについて説明したものである。()にあてはまることばを、「感覚」という語句を用いて書け。

裁判官や検察官、弁護士など法律の専門家だけでなく、一般の国民が裁判員として刑事裁判に参加することにより、裁判の進め方やその内容に()ことが期待されている。

(福島県)

[解答欄]

[解答]国民の感覚が反映される

[その他の司法制度改革]

[問題]

次の文の ， に適語を入れよ。

わが国の裁判には、費用と()がかかることや、裁判官・()・検察官がほかの先進国と比べて少ないことなどいくつかの問題があり、司法制度改革が進められている。また、平成 21 年 5 月からは、新たに裁判員制度が始まった。

(熊本県)

[解答欄]

--	--

[解答] 時間 弁護士

[解説]

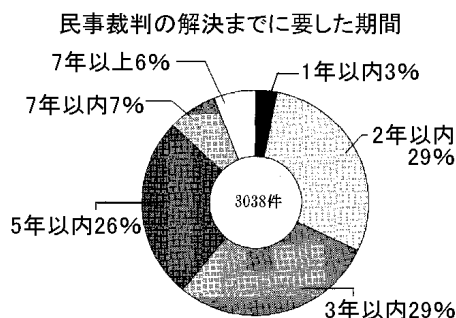
わが国は^{べんごし}弁護士や裁判官の数が少なく、裁判に時間がかかりすぎるのが問題となっている。

[問題]

現在、司法制度改革が進められているが、下の 2 つの資料を参考にして、この改革の目的を 2 つ簡潔に書け。

	弁護士数	裁判官数
日本	13 人	2 人
アメリカ	340 人	12 人
イギリス	155 人	6 人
ドイツ	104 人	26 人
フランス	50 人	8 人
*人口 10 万人あたり		

(宮崎県)



[解答欄]

[解答]弁護士や裁判官の数を増やす。裁判の迅速化をはかる。

[問題]

社会生活における私人の間の争いは、当事者間での解決がむずかしい場合は民事裁判で解決できるが、日本では民事裁判を利用する人があまり多くない。そのおもな理由を1つ書け。

(福島県)

[解答欄]

[解答]訴訟に費用や時間がかかるから。

